

令和元年度事業報告

豊川市国際交流協会は、平成2年4月1日の設立以来、国際交流、国際親善について理解と関心を高め、市民による幅広い国際交流活動を推進することにより、諸外国との相互理解と友好親善を図り、平成24年4月からは、公益財団法人として各種国際交流事業を展開しています。

このような中、令和元年度も国際理解を深めるための交流事業や各種講座、在住外国人の生活などを支援するための日本語教室、相談等、多文化共生社会づくりの為の事業を実施しました。

近年の経済活動の発展に伴い、少子高齢化も相まって労働力不足が大きな問題となっております。その中で一昨年、出入国管理法が改正となり、今後、豊川市においても外国人の急激な増加が予想されます。このような状況において、地域住民との相互理解・交流がより重要となり、当協会の役割もさらに重大となってきました。

豊川市では、年度末に「多文化共生推進プラン(2020-2024)」を改訂しました。今後想定されるいろいろな課題に対して、市と連携して取り組んでまいります。

また、国際友好親善では、マレーシア PAMAJA との交流で、マレーシア高校生体験学習プログラム2019を実施し、途切れていた中高生の体験学習プログラムを8年ぶりに再開し、若者の国際感覚を養う機会を設けました。

また、防災への取り組みとして、引き続き多文化共生課外授業を実施しました。

その他、外国人のための税務相談会を確定申告の時期に合せ実施し、地域に在住する外国人支援を行いました。

今後も、ボランティアの方々や関係団体及び地元企業と連携し、公益性を活かしながら時代に即した事業を展開して、外国人を含めた市民が安全で安心して暮らせるよう、グローバルな視点で、地域活動を進めてまいります。

公益目的事業1

諸外国との相互理解と友好親善を深めるための国際交流と国際協力に関する事業

(1) 交流会

地域の人々と外国人との交流を通じて、相互理解と親善を深めることにより、国際的な視野を広め、国際感覚の醸成を図り、地域レベルでの国際交流、相互理解、友好親善を深めました。

① 七夕交流会

日時 令和元年6月30日(日) 午後1時30分～3時30分

場所 市勤労福祉会館 視聴覚室

参加者 45人(このうち外国人8人)

内容 この地域に住む外国人の方と子どもたちと一緒に、日本の伝統行事「七夕」の飾り作り、ゲームなど行い交流を図りました。

② ワールドフェスティバル2019

日 時	令和元年12月15日(日) 午前11時～午後3時30分
場 所	市勤労福祉会館 大研修ホールほか
参加者	約700人
内 容	イベントの約1週間前から当協会の交流活動や各ボランティア部会の紹介コーナーを設け、当日は、ロビーでは世界のグルメ販売や高校生ボランティアによるブースやブラジル人のピエロ等で盛り上がり、警察・市内のグローバル企業・市役所市民協働国際課等他団体と連携して国際理解を深めました。

(2) ジュニアフレンドシップ事業

青少年の国際化への関心を深めるために、学校の授業や交流を通して多国籍の方との交流を行い、相互理解を図りました。

① スンガイブロー高等専門学校訪問団来訪

日 時	令和2年2月12日(水)
場 所	愛知県立御津高校、豊川市民プラザ
人 数	20人
内 容	御津高校では、学校紹介・校内見学や国際教養学科の授業を参観しました。マレーシアの子どもたちは一緒に授業に参加しました。また、市民プラザでは、抹茶のおもてなしや日本舞踏などを披露し国際交流を深めました。

(3) 外国支援事業

開発途上国へ中古衣料などを送る支援のために、支援物資の呼びかけをホームページや機関紙で行い、ズボン、カットソー、セーターなど段ボール3箱分の衣料品が集まりました。

公益目的事業2

地域の国際化を推進するための人材の育成と市民活動支援に関する事業

(1) ボランティア登録・育成・活動の紹介

地域の国際化や外国人支援に関心のある市民を対象に、ボランティアとして募集、登録、育成するとともに、協会で行っているボランティア活動の紹介を行いました。

また、地域の国際化を推進するための人材の育成や多文化共生における市民活動の活性化に向けて支援しました。

① 日本語学習支援、イベント支援等のボランティアの募集・登録
機関誌「We」やホームページに掲載して、募集、登録を促しました。

② 情報交換・意見交換会（運営委員会）の開催
協会の事業実施状況、ボランティアグループの活動状況の紹介、情報交換やボランティア活動における課題について話し合う意見交換会を毎月1回、各部会の代表者からなる運営委員会を開催しました。
開催回数 12回

③ 日本語ボランティア養成講座の開催
ア 「初級クラス指導のコツとノウハウ」を学び、日本語を教えるための基本的なこと、効果的な教材の使い方などについて学びました。

日 時 令和元年10月27日（土）午後1時30分～4時45分
場 所 とよかわボランティア・市民活動センタープリオ視聴覚室
講 師 伏屋由美氏（名古屋YWCA）、本多章義（市こぎつね教室コーディネーター）

受講者 20人

イ 日本語教室見学会

日 時 令和元年11月2日（土） 午後7時30分～8時30分
場 所 市勤労福祉会館 日本語教室実施教室
参加者 10人

④ 市民まつり「おいでん祭」への参加
期 日 令和元年5月25日（土）・26日（日）
場 所 市野球場
内 容 協会事業や各部会の活動をパネルでの紹介を通し、会員募集などを行うとともに、ラテンアメリカの伝統料理や飲み物の販売、折紙教室、民族衣装の展示・試着を行いました。また、ステージでは、ラテンアメリカの伝統的な踊りや民族音楽の演奏を披露しました。

(2) 国際理解講座の開催

人権、環境、平和、防災など地球規模の課題への理解を深め、解決に向けた実践的な行動を起こすことができる市民の育成を狙いとした講座や講演会などを行うことにより、市民の国際理解を深める取り組みを推進しました。

① 多文化共生課外授業

日 時 令和元年6月2日（日）午前8時15分～午後5時
場 所 豊田防災学習センターとトヨタ博物館
参加者 32人（外国人22人、日本人10人）

内 容 豊田防災学習センターでは、災害各種の疑似体験ができました。防災意識を高めるには効果的な施設でした。また、トヨタ博物館は、外国人の方に日本企業を知る良い機会となりました。

② 文化講座の開催

「どんな国シリーズ」として、それぞれの国の歴史、風俗、習慣などについて紹介していただき、国際的な知識と視野を広めました。

ア 「ドイツってどんな国」

日 時 令和元年9月8日（日） 午後2時～4時

場 所 市勤労福祉会館 視聴覚室・調理室

講 師 ヨルン メーラ氏

参加者 77人

内 容 パワーポイントを使ってドイツ、特にケルン地方を中心に説明してくれました。また、ドイツゆかりの歌を皆で歌い、ドイツについて理解を深めました。

イ 「アルゼンチンってどんな国」

日 時 令和2年2月9日（土） 午後2時～4時

場 所 市勤労福祉会館 視聴覚室

講 師 城間 幸氏

参加者 96人

内 容 アルゼンチンの文化や習慣の違いをパワーポイントにより、わかりやすく説明してくれました。またマテ茶の紹介もあり、アルゼンチンについて理解を深めました。

③ 国際理解講演会

「フランスワインを楽しむ！」

日 時 令和元年11月10日（日） 午後6時～8時

場 所 豊川市民プラザ さつき

講 師 エリック ブレジョン氏

参加者 23人

内 容 フランスの暮らしとワインの話、原料ぶどうの話、ソムリエについて等説明があり、フランス人と日本人の暮らしぶりの違いもわかり、地域の人々が海外へ目を向けるきっかけになりました。

(3) 姉妹都市等の交流

姉妹都市との交流支援とともに、海外への市民派遣による異文化体験や、海外からの来訪者に対する国際交流などを通して、地域の方の国際意識を高めました。

① マレーシアとの交流事業について

日 時 令和元年8月16日（金）～23日（金）

場 所 シンガポール・マレーシア

参加者 高校生9人、協会職員・部会員5人

内 容 マレーシアのパマジャの団体との交流を進める中、高校生を対象にしたマレーシア体験学習プログラムを実施し、ホームステイや現地高校生との交流を通して国際人の育成に寄与しました。

② 姉妹都市・友好都市との交流の支援について

日 時 令和元年6月28日（金） 午後6時～8時

場 所 豊川市民プラザ

参加者 協会部会員12人

内 容 豊川市が実施する姉妹都市アメリカ合衆国キュパティーノ市中学生使節団歓迎会での支援

(4) 外国語講座

語学学習や外国人との会話を通して外国文化に触れ、国際的感覚を養いました。
英会話6講座、中国語2講座を実施しました。

① 英会話講座

ア メアリー先生とノリノリ英会話1（初級）

令和元年5月28日～令和元年9月10日（受講者16人）

イ みんなのための英会話1（初級）

令和元年5月21日～令和元年8月13日（受講者20人）

ウ みんなのための英会話2（初級）

令和元年9月10日～令和元年12月3日（受講者20人）

エ 世界のトピックを英語で話してみよう！（中級）

令和元年9月24日～令和元年12月10日（受講者12人）

オ メアリー先生とノリノリ英会話2（初級）

令和元年12月17日～令和2年3月24日（受講者12人）

カ 自分の意見を英語で言ってみよう（初中級）

令和元年12月17日～令和2年3月24日（受講者20人）

② 中国語講座

ア ワクワク日常中国語1（初中級）

令和元年9月12日～令和元年11月28日（受講者14人）

イ ワクワク日常中国語2（初中級）

令和元年12月12日～令和2年3月26日（受講者13人）

公益目的事業3

外国人と共に暮らす多文化共生社会の実現に向けた事業

(1) 日本語学習支援事業

外国人住民が日本人と円滑なコミュニケーションをとり、充実した日常生活を送ることができるよう支援するために、日本語教室を開催するなど日本語習得の機会を提供し、文化や制度などの理解を深められるよう日本語の上達を図り、多文化共生社会づくりを推進しました。

① 日本語教室の開催

・夜クラス

日本語習得を希望する外国人を日本語の能力別にクラス編成し、能力にあった日本語指導を行いました。

日 時 4月～翌年3月の毎週土曜日 午後7時45分～午後9時まで
(午後6時～7時30分まで補習あり)

場 所 市勤労福祉会館

講 師 協会の日本語教室部会員

受講者 延べ364人(46期(4月～9月)183人、47期(10月～3月)181人)

内 容 入門から上級まで、18クラスに編成して、1期(18回)で修了し、年2回開講しました。

・ひるまクラス

日本語を勉強したい人が多くの受講機会が得られるよう、前年度から引続いて午前中の教室を開講しました。

時 期 4月～翌年3月の火曜日～木曜日午前10時30分～12時まで

場 所 プリオビル

講 師 協会のボランティア

受講者 延べ48人(14期(4月～8月)25人、15期(10月～翌年3月)23人)

内 容 入門から上級まで、小グループ又は個人レッスンで行い、1期(18回)で修了し、年2回開講しました。

② 豊川市日本語スピーチコンテスト(第10回)

豊川市に在住する日本語が母国語でない小学生以上の男女による日本語スピーチコンテストを開催し、日本での生活を通して考えたことや伝えたいことを発表することにより、国際理解を深めるとともに、市民相互の交流を図りました。

日 時 令和元年10月20日(日) 午後1時30分～4時

場 所 市勤労福祉会館 視聴覚室

出場者 10人(高校生以上一般の部10人)

参加者 37人

なお、高校生以上一般の部から3人を選出し、東三河日本語スピーチコンテストへ出場しました。

③ 東三河日本語スピーチコンテスト（第10回）

東三河5市の国際交流協会で行っている日本語スピーチコンテストで、田原市で開催されました。

日 時 令和2年1月26日（日） 午後1時30分～5時
場 所 田原文化会館
出場者 小、中学生の部 10人
高校生以上一般の部 10人
入場者 約200人

④ ひらがな新聞発行业

市内在住の外国人を対象に、日本の風習習慣や季節ごとの便りなどをひらがな新聞で提供するため、保育園、小・中学校などを通して配布しました。

発行担当者の都合により発行が一時中止となりました。

発行回数：1回 発行部数：300部

(2) ペクラ事業

この地域に在住するラテンアメリカにつながる子どもたちが、母国語や日本語で円滑なコミュニケーションをとれるよう、母国語教室及び日本語教室を開催するとともに、学習支援などを通して、多文化共生社会づくりの促進を図りました。

① 小中学生学習支援クラス

日 時 4月～3月の第1、2、3土曜日 午後2時～6時
年間29回開講

場 所 主に市社会福祉会館（ウイズ豊川）

講 師 専門講師及び協会ボランティア

登録者 13人

学習者 59人

内 容 母国語、日本語及び学校の教科の学習支援を行いました。

② アトリエ

日 時 4月～3月の毎月 第1、2、3土曜日 午後6時～9時

場 所 主に市社会福祉会館（ウイズ豊川）

講 師 協会部会のボランティア

参加者 50人（小・中学生）

内 容 ラテンアメリカの子どもたちに母国の文化の伝承や母国についてより深く知ってもらうため、主に民族舞踊を教えています。

(3) 外国人支援講座

日本で生活するための社会制度などを理解するための講座や相談会を行いました。

① 外国人のための税務相談会

日 時 2月16日(日) 午前10時～午後4時

場 所 豊川市勤労福祉会館視聴覚室

協 力 市民税課、東海税理士会豊橋支部

参加者 28人(ブラジル24人、ペルー3人、パラグアイ1人)

内 容 市内在住の外国人の方への確定申告の支援をし、地域の
人と共に暮らす多文化共生社会の一助としました。

(4) 外国人多言語相談事業

外国人市民が抱える問題に対し、母国語で相談できるよう住民に関する生活情報等の収集、提供を多言語で行うことにより、外国人市民への生活支援の充実を図ることで、多文化共生社会づくりを推進しました。

① スペイン語、中国語、英語による生活相談及び情報提供

・相談件数 58件

(5) 翻訳事業

住民、行政機関、各種団体からの翻訳の依頼に対し、必要な翻訳を行い多文化共生社会づくりに寄与しました。

① 個人から行政機関等に提出する公文書、市役所等が外国人向けに提供する行政情報及び公的な文書の翻訳

通年にわたり、スペイン語、中国語、英語の通訳、翻訳などを行いました。

公益目的事業4

地域の国際化を推進するための調査研究及び情報提供に関する事業

(1) 機関誌発行事業

地域の国際化に関する情報を市民や関係団体に情報提供することで、市民レベルでのボランティア活動の推進と地域の国際化を図りました。

① 機関誌「We」の発行

発行回数・部数 年2回(7月・1月)2回で2,700部

(2) 広報とよかわ「インフォルマ」スペイン語・ポルトガル語版翻訳事業

日本語がわからないために情報格差が生じがちな外国人市民に対し、市広報の行政情報の一部を母国語で提供するための翻訳の協力をしました。

① 「インフォーマ」

発行回数・部数 年12回・1,800部 /回

(3) 協会ホームページの運営

広報手段として重要なホームページを管理・運営することにより、生活に必要な情報を速やかに提供するとともに、協会の事業やボランティア活動に参加を促し、地域の国際化の推進を図りました。

① ホームページでの情報提供

本協会の行事予定や活動状況、語学講座や文化講座の諸事業について、より多くの方に情報提供し協会事業への参加を促すための情報発信を行いました。

(4) ざっくばらんに話そう

② マレーシア体験学習2019高校生報告会及び「海外へ行く・外国人と話すについて」ざっくばらんに話そう！

日時 12月15日（日） 午後1時～午後3時

場所 豊川市勤労福祉会館 第2会議室

参加者 48人（高校生10人、学校関係者4人、会社関係11人
協会関係者他23人）

内容 マレーシア体験学習2019高校生報告会では、プログラムに参加した高校生が自身の様々な体験を報告しました。今後、海外渡航や外国人に対して意欲的に交流する意欲が芽生えました。また、「海外へ行く・外国人と話すについて」ざっくばらんに話そう！では参加した様々な方がたの国際的体験談や考えを聞くことにより、高校生が国際感覚を養い、若者の国際人育成に寄与しました。

附属明細書

令和元年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書の「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しません。